



檜小だより

檜原学園檜原小学校



2月号

令和2年度

2月1日(月)

ホームページアドレス <http://rlco.jp/hinoharasyougakkou/>

自分事として考える

副校長 田中 暁

ふるさと檜原学習発表会及び書き初め展のご参観ありがとうございました。この発表会に向けて、子供たちは、生活科や総合的な学習の時間に檜原村への関心を高めたり、檜原村について調べたりしてきました。

1年生は、生活科で作ったおもちゃの遊び方を説明し、保護者の方と一緒に、複数のおもちゃを楽しんでいました。2年生は、檜原村の役場や駐在所、図書館などの施設を訪問して、分かった人々の思いや工夫をまとめて発表していました。3年生は、檜原大豆やムラサキ、椎茸栽培など、講師の方から学んだことや自分たちで育てた感想を伝えていました。4年生は、2分の1成人式として、未来に向けた思いを伝えたり、国語で学習した「ごんぎつね」を歌やリコーダーで表現したりしていました。5年生は、檜原小米について講師から学んだことや、岩井臨海学園での宿泊から感じたことを発表していました。6年生は、檜原村の歴史を調べ、まとめ、日光移動教室を通して学んだことを堂々と伝えることができました。

ふるさと檜原学習発表会の各学年の展示物



どの学年の子供たちも発表会まで熱心に練習し、思いを伝えたいと一生懸命学習していました。この2日間の発表を通して、さらに子供たちが大きく成長したように感じました。

ところで、この「ふるさと檜原学習」では、どのような力を子供たちが身に付けていくのでしょうか。変化の激しい予測困難なこれからの時代を生き抜いていく子供たちには、新たな問題に直面した際に、立ち向かっていく姿勢や友達と協力する態度、解決するための知識が求められています。そこで、「ふるさと檜原学習」においても、友達と一緒に課題を解決する力、発表することによる表現力、檜原村に関する知識や体験的な理解、郷土を愛する心や自主的に取り組む意欲などを育てるように進めています。

今、ニュースや新聞など至る所でSDGs（世界で2030年までに達成を目指す持続可能な開発目標）を見かけます。9月の学校便りで少し紹介させていただきましたが、世界には様々な課題があり、全ての人がSDGsを達成するための行動を取ることが求められています。しかし、世界の課題を自分の事として考えることは、容易ではありません。そこで、身近な檜原村から東京都、日本、そして世界へと少しずつ取り組む課題を広げていくことにより、子供たちが課題を自分の事として解決していこうとする意欲を高めていきたいと考えています。

現在、新型コロナウイルス感染症という未曾有の事態に直面しています。そのような中、子供たちは、医療関係者の方へ向けて「医療の方が困らないように、私は手洗い、消毒をしっかりと、病気をしっかり予防します。」「お医者さんたちもがんばってください。私たちもマスクをして、病気にならないようにがんばります。」と手紙に書いていました。医療現場で起きている課題を自分ごととして捉えている檜原小学校の子供たちをととても頼もしく感じ、子供たちが一層成長できるように、学校、家庭、地域が一体となって子供たちを育成していきたいと思っておりますので引き続きご協力の程よろしくお願いたします。

2月の生活目標

寒さに負けず元気に過ごそう

朝夕は、まだまだ寒い日が続いています。寒空の中でも外で元気いっぱい遊んでいる子供たちの声を聞くと、寒さに負けない力強さを感じます。冬は人間の体の抵抗力が落ちやすく、風邪の流行等も相まって健康管理が難しい季節です。2月も元気に学校生活を送るために、規則正しい生活、バランスの良い食事、十分な睡眠で、体に疲れをためないように、ご家庭でもご協力よろしくお願いたします。

生活指導担当 新藤 智美



東京都公立学校科学展

檜原小学校の昇降口付近にあるピオトープをもうご覧になりましたか？今年度の6年生全員で作りました。

残念ながら今年度は日本科学未来館において開催される予定だった科学展の発表は中止になってしまいましたが、6年生は科学展へ前向きに自分たちで考えながら取り組むことができました。先日の全校朝会の際には、全校の前で科学展の取組について表彰されました。

今後も身近な科学について疑問をもったり、考えてみたいしてほしいと思います。

担当 松澤 孝太郎



親子読書週間

2月1日(月)から2月12日(金)まで、親子読書週間を行います。

1月21日には先だって、図書集会を行いました。図書委員会の児童はたくさん本を読んでもらいたいと、おすすめの本を紹介したり、クイズを行ったりしていました。

図書集会后には「読書週間中に、5冊は本を読みたい」「長い物語に挑戦してみようかな」と話している子供もいました。

親子読書週間を通して、各ご家庭でも本に触れる機会にさせていただくと幸いです。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

図書委員会担当 山田 剛史
小林 忍

元気アップウィーク

3学期の「元気アップウィーク」が、2月22日(月)から2月26日(金)の期間に予定されています。

今年度はコロナ禍の中での実施となるため、集団の関わりの中で取り組む運動等への制限がありますが、自分の伸ばしたい運動の技能に合わせて、子供たち一人一人が自分の目標をもって体力向上を目指すことができるように、学校全体で取り組んでいきます。

また、元気アップウィークに合わせて、児童の「元気アップカード」をご家庭に配布いたします。ぜひ、子供たちと一緒に元気な体をつくる様々な運動に、ご家庭でも取り組んでいただければと思います。併せて「元気アップカード」に添付されている「生活リズムチェックシート」への記入も、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

体育的行事委員会 根本 夕芽

SDGs 紹介④

世界では、6秒に1人、5歳になる前の子供が命を落としています。1年間で考えると約530万人もいます。アフリカの南の地域では、ヨーロッパに比べて15倍も高い割合です。

すべての人が健康に過ごせるように私たちは考えていくことが必要です。

【健康に関する学校の取組紹介】例

- ・ オリンピック・パラリンピック教育では、短距離・長距離走を講師の方から教わりました。
- ・ 小池栄養士からバランス良い食事などの食育を受けました。
- ・ 元気アップウィークを年間3回行いました。
- ・ 村社会教育事業からいただいたワイナイナさんの直筆サイン入りポストカードを配布し、運動への意欲付けを行いました。

SDGsは全ての目標がつながっています。子供たちがSDGsを学習することを通して、体育だけではなく、差別や思いやりなど様々なつながりを捉えてほしいと思います。



結婚のお知らせ

昨年12月、竹内主任教諭が入籍しました。

尚、PTAからお祝いをいただきました。ありがとうございました。

メール受信できていますか？

大雪に伴う休校や緊急時の連絡は、一斉メール配信で行います。今一度受信可能かどうかご確認ください。

(毎月10日にテスト配信を行っています。)